

製品名: CKMT2 (3F4) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03477**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	CKMT2
別名	SMTCK
遺伝子 ID	1160
SwissProt ID	P17540
免疫原	-

背景

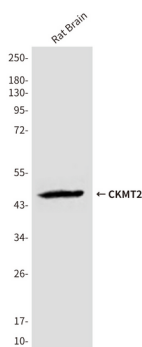
ミトコンドリアクレアチンキナーゼ (MtCK) は、ミトコンドリアから細胞質のキャリアであるクレアチンへの高エネルギーリン酸の輸送を担っています。MtCKはクレアチンキナーゼアイソザイムファミリーに属し、サルコメリック MtCK とコビキタス MtCK とい

う2つのアイソザイムがそれぞれ別の遺伝子によってコードされています。ミトコンドリアクレアチンキナーゼは、細胞質クレアチンキナーゼアイソザイムが二量体のみであるのに対し、二量体と八量体という2つの異なるオリゴマー形態で存在します。サルコメリックミトコンドリアクレアチンキナーゼは、ユビキタスミトコンドリアクレアチンキナーゼのコーディングエクソンと80%の相同性を有しています。この遺伝子は、ミトコンドリアタンパク質をコードするいくつかの核遺伝子に共通するモチーフと相同性のある配列を含んでおり、ミトコンドリア生合成におけるこれらの遺伝子の協調的な活性化に必須である可能性がある。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする3つの転写バリエーションが見つかっている。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



CKMT2 抗体を使用したラット脳溶解物中の CKMT2 のウエスタンブロット分析。